

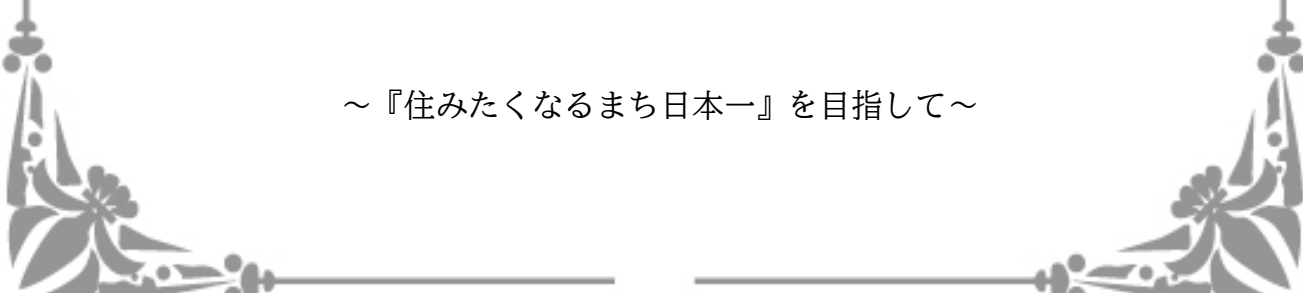
令和4年第4回富谷市議会定例会

市長挨拶

令和4年11月30日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



1. はじめに

本日ここに、令和4年第4回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、開会の挨拶に併せ、富谷市総合計画に掲げた、まちづくりの将来像「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた現在の取組概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症への市の取組について申し上げます。

市民の皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の推進に、ご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。また、最前線でご尽力されている医療従事者の皆様に対しましても、心より感謝を申し上げます。

新型コロナワクチンの接種については、現在、個別・集団を併用し、日曜、祝日を含め、毎日いずれかの会場で接種可能としておりますので、接種を希望される方は、早めの接種をお願いいたします。

現在は、感染者数の高止まりの傾向が続いており、これから年末に向けて、人と接する機会も増え、さらなる感染拡大の懸念もあることから、引き続き、市民の皆様には、日ごろの感染対策の徹底をお願いいたします。

次に、新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰に関連する主な経済対策の状況について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に係る国の経済対策である低所得子育て世帯生活支援特別給付金支給事業については、11月21日時点で、児童扶養手当を受給されている方など、437世帯728名の児童の保護者に対し、3,640万円の給付が完了しております。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業については、10月末をもって申請が終了し、11月21日時点で、436件、4,360万円の給付が完了しております。

「とみや応援3割増商品券」については、10月31日で販売が終了しました。4万セットの発行予定に対して、約32,700セットの販売となり、販売率は約82パーセントで、見込まれる経済効果は、約4億2,500万円となります。商品券の使用期間は、来年1月31日までとなっておりますが、今回の割増商品券事業が

市民の皆様の生活支援、そして、市内経済活性化につながることを期待するものです。

中小事業者等に対する支援策となる原油価格物価高騰対応・事業者支援補助金については、11月15日で受付が終了し、合計で、324件、金額で2,590万円の申請がありました。現在は、申請に対する支給の手続きを進めており、12月中旬には完了する見込みとなっております。

米価下落や原油高騰及び資材高騰に伴う農業経営者及び乳牛等生産者に対する本市独自の支援策として実施している農業継続支援補助金については、現在、205名の方からの申請を受け付けております。引き続き、早期に支給が完了するよう取り組んでまいります。

原油価格物価高騰対応・高齢者及び障害福祉施設等事業者支援補助金については、10月31日の受付終了を受け、合計で38件、金額で395万円の申請があり、11月末に支給が完了しております。

11月1日に開催された第3回臨時会において、補正予算を可決いただきました、灯油等の購入に対し、6千円の助成券を配布する「原油価格高騰緊急対策事業」については、現在、協力事業者の取りまとめを進めながら、12月中旬から各家庭において利用できるよう助成券の発送準備を進めております。

2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の4つの基本方針と後期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

現在、造成工事中の高屋敷西地区及び成田南地区については、順調に工事が進んでおります。市といたしましては、引き続き、地権者をはじめ、関係機関と連携を図りながら、企業立地の早期実現に向けて取り組んでまいります。

また、11月17日には、市内企業の皆様の交流を目的とした「富谷でつながるビジネス交流会」を3年ぶりに開催いたしました。当日は、市内18社の企業の皆様の参加のもと、市内企業同士の「つながり」を創出していただく機会となり

ました。今後も市内企業の皆様と連携を図りながら、本市の産業振興に努めてまいります。

(2) 起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

第5期富谷塾については、11月末時点で154名の塾生が入塾し、塾生のニーズに合わせた多様なメニューを通して実践的な学びを深めております。

12月3日には、約半年間にわたり本格的なビジネスプランを設計する「スタートアップ創出プログラム」に参加した塾生の報告発表会を開催し、さらに、12月9日から11日までの3日間をかけて、新規事業を生み出す起業体験イベント「Startup Weekend 富谷」を開催いたします。これら事業とあわせ、今後も、塾生によるビジネス創出に向けた多様な支援に取り組んでまいります。

しんまち地区の荷宿については、デジタル田園都市国家構想推進交付金・地方創生テレワークタイプを活用したテレワーク施設の整備に向けて、実施設計業務が完了し、11月18日から改修工事を開始しております。また、来年度のオープンに向けた入居企業の誘致及び施設運営に関する具体的な協議を進めているところです。引き続き、宮城大学及び関係機関と連携を図りながら、本市における新たなビジネスの拠点として、充実した施設となるよう、整備に取り組んでまいります。

(3) 農業関連施策について

次に、農業関連施策について申し上げます。

稲作については、東北農政局から今年の作況指数は、県内全域で「100の平年並み」と発表がありました。また、令和4年産米については、1等米比率が昨年より5パーセント増の98パーセントとなり、作柄は「ほぼ平年並み」となっている状況です。しかしながら、コメ消費の減少や、新型コロナウイルス感染症の影響による業務用米の需要低迷の状況が続いており、米価の概算金では、「ひとめぼれ」で10,800円と、依然として低価格での推移となっているとともに、原油価格の高騰は農業経営に大きな負担となっており、今後も大変厳しい状況が危惧されるところであります。

米の生産については、引き続き、農協推奨ブランド米である「特別栽培米」を主とした、環境にやさしい安全安心な米づくりの推進とともに、「生産の目安」による非食用米等への作付け及び農地管理に対する本市独自の支援を継続し、新みやぎ農協あさひな統括事務所と連携を図りながら取り組んでまいります。

農作物有害鳥獣対策については、イノシシ対策として実施している物理柵の設置について、設置予定の2地区からの追加要望を受け、設置距離を7キロメートルから約11キロメートルに延長し、侵入防止及び農作物の被害拡大防止を図ることといたしました。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

(4) 観光・地域振興施策について

次に、観光・地域振興関連施策について申し上げます。

富谷市から宮城の大豆食文化の魅力を発信する「宮城の大豆食文化」保護・継承プロジェクトについては、10月15日にキックオフイベントを開催し、本格的に始動したところです。今後は、かつて富谷で製造されていた味噌・醤油の復活に向けた調査を踏まえつつ、食文化セミナー、ワークショップ、レシピコンテストを通じて、市民の皆様をはじめ、県内全域に向けて情報を発信し、文化財登録を目指してまいります。

富谷宿観光交流ステーション「とみやど」については、10月10日に3年ぶりに開催した「街道まつり」のメイン会場として、大いなる賑わいを創出し、10月末時点で、のべ26万7千749人の皆様にご来場いただいております。しかしながら、昨年同時期と比較し、来場者数は減少傾向にあることから、引き続き、指定管理者である地域商社・株式会社1038（とみや）と連携しながら、魅力のあるイベントを充実させ、とみやどを核とした観光と交流人口の拡大に努めてまいります。

また、先日の議員全員協議会でご説明しましたとおり、とみやどマルシェ広場屋根設置工事については、設置場所をマルシェ広場からイベントステージ向かいの芝生広場に変更して事業を進めてまいります。この変更は、ステージイベントと連携し、多目的に活用できる施設とすることで、とみやど全体の集客力アップにつなげることで、また、工事がテナントに与える影響を最小限におさえること

が主な理由でございませう。議会の皆様には、ご理解を賜りますようお願ひいたします。

(5) 土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

本市の将来像の確立に向けて、都市計画方針を定める、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定については、第2回策定検討委員会を11月2日に開催いたしました。各委員からいただいた貴重なご意見を参考に適正な策定に向けて取り組んでまいります。

仙台北部道路富谷ジャンクションのフルジャンクション化に関する都市計画道路の変更については、11月17日に宮城県都市計画審議会において審議され、来年1月には告示される見込みとなっております。

また、11月8日には、国土交通省や財務省などを訪問し、早期事業化に向けた要望活動を行ったところです。引き続き、フルジャンクション化の早期事業化に向けて、取り組んでまいります。

(6) 住宅・公園・上下水道関連施策について

次に、住宅・公園・上下水道関連施策について申し上げます。

(仮称)やすらぎパークとみや整備工事については、順調に工事が進み、進捗率は、約45パーセントに達しておりますが、山林造成後の地質調査において、当初想定していた土質に乖離が見られ、工種変更が必要になっております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程よろしくお願ひいたします。

水道事業については、昨年度より着工している、宮床送水ポンプ場の耐震補強工事について、年度内の完成に向け、順調に進捗しているところであります。

また、下水道事業についても、令和2年度に着工した「明石台汚水中継ポンプ場建設工事」が本年度内に完了予定であります。快適な市民生活に欠くことのできない上下水道施設について、今後とも、安定的なサービスの提供に努めてまいります。

3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

第2期富谷市教育振興基本計画の策定については、第4回目の策定委員会を開催し、委員の皆様から、ご意見をいただいたところでございます。今後は、パブリックコメントのご意見等を踏まえ、より実効性の高い計画の策定に努めてまいります。

富谷中学校西成田教室については、開設して約9か月が経過し、生徒たちは新たな環境にも慣れ、落ち着いて学校生活を過ごす時間が増えてきております。

また、これまで全国各地から視察に来ていただき、先進事例として高い評価をいただいているところです。併せて、様々なご意見をいただきながら、よりよい運営に努めております。今後も、教育支援センター等との連携を強化し、誰一人取り残すことのない教育を一層推進してまいります。

学校給食については、令和5年度当初より公立小中学校での学校給食費の完全無償化についての方針をお示したところでございますが、令和5年第1回定例会にて関連条例を上程する予定としておりますので、ご審議の程よろしくお願いいたします。

なお、3月16日に発生した学校給食センター施設の地震被害に伴う復旧については、夏季休業期間中の工事完了後、新たな設備の操作確認や試験運転等を実施し、後期より問題なく全面稼働したところでございます。今後も引き続き、安全安心な学校給食の提供に努めてまいります。

(2) 教育・国際交流関連施策について

次に、教育・国際交流関連施策について申し上げます。

今年3月16日に発生した地震に伴う学校施設等の災害復旧については、使用ができない状況となっておりました成田中学校校舎4階部分の復旧工事が完了し、後期から本来の教室における授業が再開されたところです。

また、経年劣化に伴う更新を予定しております、あけの平小学校エレベーター更新工事について、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程よろしくお願いいたします。今後も、児童生徒が安心して学べる環境の整備・充実に努めてまいります。

(3) 生涯学習関連施策について

次に、生涯学習関連施策について申し上げます。

図書館等複合施設整備関係については、公募型プロポーザルで選定いたしました事業者と基本設計の業務委託契約を締結いたしました。

また、今年度内に3回の市民ワークショップを予定しております。第1回目は10月30日に開催し、設計者の説明の後、参加いただいた皆様から様々なご意見をいただきました。今後は、第2回目を12月3日に予定しており、引き続き、市民の皆様のご意見を取り入れながら、基本設計業務を進めてまいります。

次に、今年度の成人式については、民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられておりますが、本市においては、引き続き、20歳の方を対象として、式典の名称を「二十歳（はたち）を祝う会」に変更し、来年1月8日の開催に向けて、準備を進めております。

(4) 芸術・文化関連施策について

次に、芸術・文化関連施策について申し上げます。

とみやマーチングフェスティバルについては、万全な新型コロナウイルス感染症対策を講じて、11月26日に3年ぶりに開催いたしました。当日は、参加した市内小学校の金管バンドや、とみやマーチングエコーズ、鼓響とおのみや太鼓の皆様が素晴らしい演奏、演技を披露され、ご覧になった皆様の感動が伝わる1日となりました。

また、11月5日と6日に開催されましたマーチングバンド・バトントワーリング東北大会では、とみやマーチングエコーズと富ヶ丘小学校が、12月10日・11日に、さいたまスーパーアリーナで開催される全国大会への出場が決定いたしました。全国の観衆を魅了する発表となるようご期待申し上げますとともに、芸術文化の薫るまちを目指し、今後も支援を継続してまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審

議の程よろしく願います。

(5) 子育て関連施策について

次に、子育て関連施策について申し上げます。

乳児を養育する子育て家庭への新たな支援策である「富谷市乳児見守りおむつ等お届け便事業」は、12月12日に出発式を行い、今年8月までに生まれたお子さん、125名から順次配送を始めてまいります。今後は、紙おむつなどをお届けした際に、声掛けや見守りを行いながら、母子の健康状態を確認し、育児中の不安の解消につなげられるよう、配達員に対し、子育て家庭の見守りなどの研修を実施してまいります。

また、国において、妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施事業が新たに創設されることから、当該事業を迅速に実施するため、本定例会に補正予算を追加提出させていただきますので、ご審議の程よろしく願います。

3. 「基本方針－3 元気と温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元気と温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 健康・保健関連施策について

はじめに、健康・保健関連施策について申し上げます。

5月から実施しております各種検診事業については、11月に実施した胃がん検診の未検者検診まで終了し、現時点での受診者数は、延べ43,300人と昨年度を上回り、多くの市民の皆様にご受診いただきました。

また、本市健康推進計画における重点課題のひとつに「女性の検診受診率の向上」を掲げていることを踏まえ、乳がん予防をテーマとした「とみや市民公開講座」を11月25日に成田公民館にて開催いたしました。会場では、宮城県対がん協会講師による特別講演のほか、自己触診の方法や、がん経験者の方による体験談の紹介なども実施し、検診受診率の向上につながるよう努めてまいりました。

(2) 医療関連施策について

次に、医療関連施策について申し上げます。

宮城県が推進する仙台医療圏 4 病院再編については、引き続き、県や設置者等の協議の進展を見守りつつ、本市への誘致実現に向けて取り組んでまいります。

国民健康保険については、国保税について、来年度から市独自に均等割 5 割減免の対象年齢を 18 歳までに拡大することとしたほか、現在、全世代向けのさらなる負担軽減策について、検討しているところです。

また、後期高齢者医療制度については、10 月 1 日から、一定以上の所得がある方の窓口負担割合が 2 割となりましたが、今のところ特に混乱は生じておりません。今後も配慮措置があることも含め、引き続き分かりやすい制度の周知に努めてまいります。

(3) 地域活動関連施策について

次に、地域活動関連施策について申し上げます。

民生委員児童委員及び主任児童委員については、3 年に 1 度の一斉改選期を迎え、12 月 1 日に委嘱状の交付式を執り行います。今期は、定員 72 名に対し、新任委員 15 名を含む 67 名体制でスタートいたします。なお、欠員が生じている地区については、引き続き、行政区長と連携を図りながら、早期の解消に努めてまいります。

また、重層的支援体制整備事業については、移行支援事業の 1 つである多機関協働事業を、11 月から一般社団法人パーソナルサポートセンターに委託しており、介護、障がい、子育て、生活困窮の各分野の包括的な支援体制の構築に努めているところです。

4. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 防災・救急・消防関連施策について

はじめに、防災・救急・消防関連施策について申し上げます。

防災関連については、10 月 30 日に、3 年ぶりに富谷市総合防災訓練を実施いたしました。東向陽台公民館を主会場として、各公民館と町内会館の間での無線通信訓練と安否確認訓練を実施し、消防団の救助資機材の展示説明や、富谷消防

署員によるAEDの使用説明、日赤の非常持ち出し品の展示、婦人防火クラブによる非常食の配布を行い、安否確認訓練と併せて、自助共助の一層の強化につながったと考えております。

消防関連については、今年は大きな台風・水害もなく、暖房を使用する時期となってまいりました。本市消防団では、11月6日に「秋の火災予防運動」に先立ち開始式を行い、11月9日から15日までの期間中に広報・巡回活動を行い火災予防に努めてまいりました。

(2) 防犯・交通安全・消費者保護関連施策について

次に、防犯・交通安全・消費者保護関連施策について申し上げます。

交通安全関連については、昨日11月29日をもって、本市の交通死亡事故ゼロは1,268日となりました。これから路面凍結・積雪の時期となってまいりますが、今後も引き続き、交通死亡事故ゼロを継続できるよう、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

(3) 環境衛生関連施策について

次に、環境衛生関連施策について申し上げます。

空き家対策事業については、昨年引き続き、11月19日に市民向けの空き家セミナーを開催し、市内外から約40名の参加をいただいたところです。議長をはじめ、議会議員の皆様にもご参加いただき、セミナーでは、空き家に対する適正管理や、基本的な相続手続の講演、無料相談会も実施いたしました。今後も、市民の皆様を対象とした空き家の適正な維持管理、空き家発生予防のための啓発に努めてまいります。

去る10月16日には、秋のクリーン作戦を行いました。新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりの開催となりましたが、早朝より約5,300名の皆様にご参加いただきました。

また、同日9時30分からは、使用済み小型家電の一斉回収を行い、約170名の方が来場され、パソコンや携帯電話等の小型家電を合計1,860キロ回収しました。

(4) 人権尊重・男女共同関連施策について

次に、人権尊重・男女共同関連施策について申し上げます。

男女共同参画の推進については、宮城県が主催しております「いきいきキャリアアップ事業」を、本市との共催により、12月15日に市役所を会場に実施いたします。本市においては、「女性がキラキラ輝き、働くために。～デジタル時代のキャリアを考える～」をテーマとし、加速するデジタル化など、就労環境の変化に対応できる女性のキャリア形成について学びを深める機会を通して、女性の就業継続意識の向上やデジタル人材の育成につなげてまいります。

(5) 住民参加・協働関連施策について

次に、市民参加・協働関連施策について申し上げます。

11月18日に実施した、「とみやわくわく子どもミーティング」については、「子どもにやさしいまちづくりについて～みんなで話そう！とみやの未来～」をテーマに、市内8小学校の5、6年生16名の皆さんから様々なアイデアやご意見をいただき、大変有意義なミーティングとなりました。引き続き、子どもの視点や発想を積極的にまちづくりに生かし、子どもにやさしいまちづくりの推進につなげてまいります。

なお、次回の「とみやわくわくミーティング」は、「ゼロカーボンシティについて～富谷市2050年ゼロカーボンシティを目指して みんなの『やってみよう!』が未来のやさしいTOMIYAをつくる～」をテーマに、1月17日に開催する予定としております。

(6) 行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

市税については、期限内に納めていただいている多くの市民の皆様との公平性を欠くことのないように、11月と12月を滞納整理強化月間に設定し、徴収対策を集中して実施・周知しております。今後とも、税負担の公平性と財源確保に努めてまいります。

マイナンバーカードの普及促進については、国のマイナンバーカード交付円滑化計画に基づき、交付率向上を図るため、9月から市内6公民館の出張申請受付を実施し、3か月間で約550人の申請をいただいております。

12月も引き続き、公民館巡回交付申請受付を行うとともに、12月17日には、平日に来庁が困難な方のために、土曜日の申請受付を市役所市民交流ホールにおいて実施いたします。

また、今後は、とみや子育て支援センター「とみここ」や、企業への出張申請として、富谷市シルバー人材センター等での受付を実施し、さらなるマイナンバーカードの普及促進を進めてまいります。

市制施行記念事業については、11月20日に市制施行6周年記念事業として、富谷スポーツセンターを会場に「NHKのど自慢」を開催し、前日の選考予選会を通過した18組の皆様が、自慢の歌声を披露しました。予選通過者や合格者には市内在住者の割合が高く、会場も大きな拍手で大いに盛り上がりました。当日は会場に約900人の皆様が来場し、生放送による中継と併せて、全国に富谷市を大きくアピールする、またとない機会となりました。昨年度は、コロナ禍により中止となりましたが、この度の開催に対して、共催いただいたNHK仙台放送局をはじめ、多くの関係者の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

恒例の新年祝賀会については、来年1月5日に癸卯（みずのと・う）の新春を寿ぎ、「令和5年富谷市新年のつどい」として3年ぶりに開催いたします。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、感染防止対策として飲食の提供は行わない内容での開催となりますが、議会の皆様にも、ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます。

最後に、各民間調査機関発表の自治体評価ランキングについて申し上げます。

11月16日に大東建託株式会社が発表した「住み続けたい街ランキング2022」において、本市は2年連続東北、宮城県第1位となりました。

また、「街の幸福度ランキング2022」では、宮城県第1位、東北第2位となりました。

今年度は、これまでに発表されたランキングを含めると、5つの自治体評価ランキングすべてにおいて、宮城県第1位となりました。各データや居住者満足度調査において、いずれも高い評価をいただいたものと受け止めております。

引き続き、本市の将来像「住みたくなるまち日本一」を目指して、まちづくりに取り組んでまいります。

以上、令和 4 年第 4 回富谷市議会定例会の開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。